國學院大學學術情報リポジトリ

2022年度国際研究フォーラム「ミュージアムでみせる宗教文化」報告書

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-05-21 キーワード (Ja): NDC9:069.5, NDC9:160.4, NDC9:161.3 キーワード (En): 作成者: 國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001632

開催概要

國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所
2022 年度国際研究フォーラム
「ミュージアムでみせる宗教文化
Displaying Religious Cultures: A Museum Perspective」

2022 年 12 月 11 日、國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所では、「ミュージアムでみせる宗教文化」をテーマとして 2022 年度の国際研究フォーラムを開催した。モノやコトを展示する場としてのミュージアムにおいて、どのように宗教文化をみせるのか、またみせうるのか、その実践や可能性について議論した。概要を以下に記す。

◇国際研究フォーラム「ミュージアムでみせる宗教文化」

日 時：2022年12月11日(日) 13時00分～17時30分

場 所：國學院大學渋谷キャンパス 120周年記念2号館1階2101教室

報告者（敬称略・発表順）、題目：

[第Ⅰ部] 大学ミュージアムの中の宗教文化

(1) 深澤太郎（國學院大學博物館准教授）

「来て、見て、体感する神道と日本の宗教文化」

(2) 熊谷貴史（佛教大学宗教文化ミュージアム学芸員）

「展示するモノと展示するコト：仏教文化の視点から」

(3) 下園知弥（西南学院大学博物館助教・学芸員）

「キリスト教展示の現状と課題：諸教会の文化をいかに展示するか？」

[第Ⅱ部] 多様性の中の日本の宗教文化

(1) エミリ・アンダーソン（全米日系人博物館学芸員）

「強制収容所内の信仰と宗教：アメリカの日系人博物館を通して考える日系人の多様な宗教経験」

(2) 北原モコットウナシ（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授）

「アイヌ文化展示が照らす日本・東アジアの宗教」

コメンテーター（敬称略）：

〔第Ⅰ部〕 田澤恵子（公益財団法人古代オリエント博物館研究部研究部長）

〔第Ⅱ部〕 高橋典史（東洋大学社会学部国際社会学科教授）

司 会：平藤喜久子（日本文化研究所所長）

使用言語：日本語

主 催：國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

本報告書には、上記の講演における報告内容をもとに、報告者の方々にご執筆頂いた報告要旨を掲載している。そのため、タイトルや内容など、報告の際のものから若干変更されている場合がある。また、報告要旨における執筆者の肩書きは2024年2月現在のものとなる。